

病棟におけるポータブル撮影 についてのアンケート集計結果

公益法人星総合病院放射線科

平岡陽子

背景・目的

ポータブル撮影時…病棟・看護師さん・患者さんの状態によって、対応に差があるように感じる。

例えば…声をかけても返事がない、IPを入れたらすぐに離れて行ってしまふ、動ける患者さんだからと、病室に来てくれないなど。逆に率先して入ってくれたり、患者さんの状態・情報を伝えてくれる看護師さんも。



技師側…ポータブル撮影は患者さんの安全のためにも看護師さんと一緒に撮影に臨みたい

看護師側…??

なぜ差が出てしまうのか？また、ポータブル撮影はどのように認識されているのであろうか。



簡単なアンケートにより情報収集し、改善点を探ってみる。

ポータブル撮影件数（月別・平均）

1月～9月

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	月平均
ICU	199	233	262	256	232	201	314	253	267	246.3
緩和ケア	0	3	1	8	5	7	9	9	7	5.4
2ST	42	21	17	24	27	45	23	21	24	27.1
3ST	127	138	136	108	122	115	139	162	143	132.2
4SV	24	34	24	30	17	37	29	24	20	26.6
4T	2	3	11	4	1	12	6	7	4	5.6
2UV	58	53	76	63	57	50	41	60	60	57.6
3UV	95	117	62	62	106	91	78	124	76	90.1

方法

アンケートのお願い

全病棟の看護師の皆様、いつも放射線科の撮影にご協力頂き、誠にありがとうございます。

今回のアンケートの趣旨は、主にポータブル撮影業務において、患者様が安心かつ安全で正確な検査ができるよう、より良い撮影方法がないかを検討するためのものです。

その中でいつも介助に携わっていただいている看護師の皆様のご意見もお聞きしたいと思い、今回のお願いとなりました。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

経験年数 1年未満 ・ 1～3年 ・ 4～6年 ・ 7～9年 ・ 10年～

1、ポータブル撮影時に、ヒヤリ・ハットの経験はありますか。

ある(その時の状況:)

ない

2、患者様にフィルム板を入れる際、以下の方法のうちどちらがやりやすいですか。

I. 患者様を持ち上げ、背中にフィルム板を挿入する方法

II. 患者様に横を向いていただき、フィルム板を入れていく方法

III. ほかのやり方がよい(方法:)

3、現在、ポータブル撮影では1人の看護師さんに介助をお願いしていますが、それについてどう思われますか。

I. 現状でよい。

II. 2名の看護師で、ルート等の確認を行いながらしたほうがよい。

III. その他()

4、その他、ご意見、ご提案などございましたらお聞かせください。

ありがとうございました。頂いた意見を科内で検討し、今後のポータブル撮影業務に生かしていきたいと思っております。またご提案等ございましたらお声かけください。

※7月27日回収に伺います。よろしくお願いいたします。

医療技術部放射線科 平岡 陽子

対象

全病棟と救急外来

(1U・2ST・2UV・3ST・3UV・
4T・4S・救急外来)

期間

2013年7月16日～7月27日

アンケートの内容

- 1、ポータブル撮影時に、ヒヤリハットの経験はありますか。
- 2、患者さんにフィルム板を入れる際、以下の方法のうちどちらがやりやすいですか。
 - i 患者さんを持ち上げ、背中にフィルム板を挿入する方法
 - ii 患者さんに横を向いていただき、フィルム板を入れていく方法
 - iii ほかのやり方がよい
- 3、現在ポータブル撮影では一人の看護師さんに介助をお願いしていますが、それについてどう思われますか。
 - i 現状でよい
 - ii 2名の看護師で、ルート等の確認を行いながらした方がよい
 - iii その他
- 4、その他、ご意見ご提案などございましたらお聞かせください

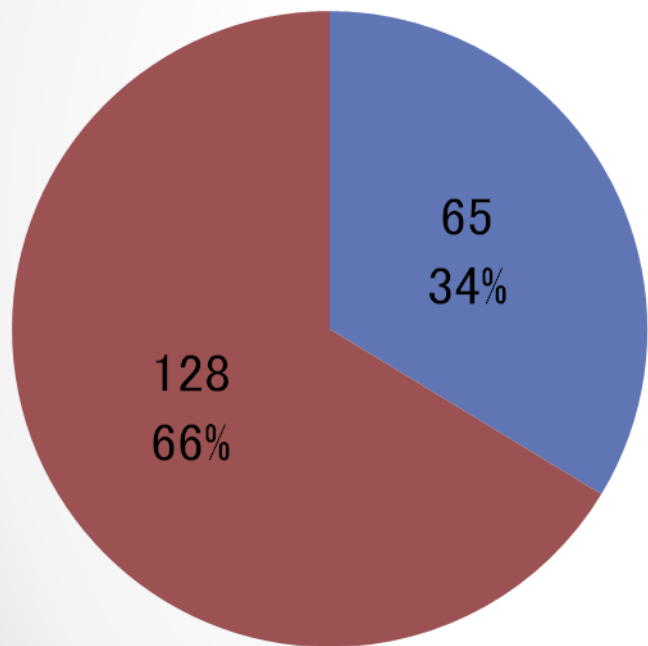
得られた回答数

病棟	回答数
ICU	30
緩和ケア	15
2ST	30
2UV	23
3ST	30
3UV	29
4SV	20
4T	18
救急	2
計	197

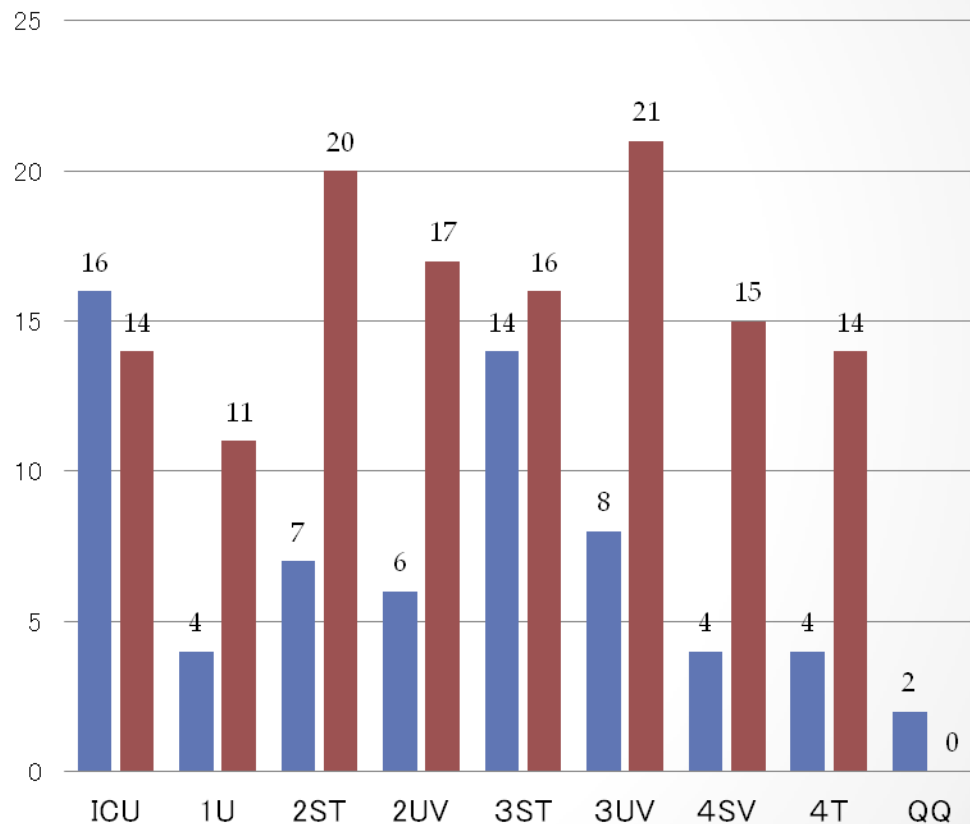
アンケートの結果

1 ヒヤリハットの経験について

全体



病棟別



■ある

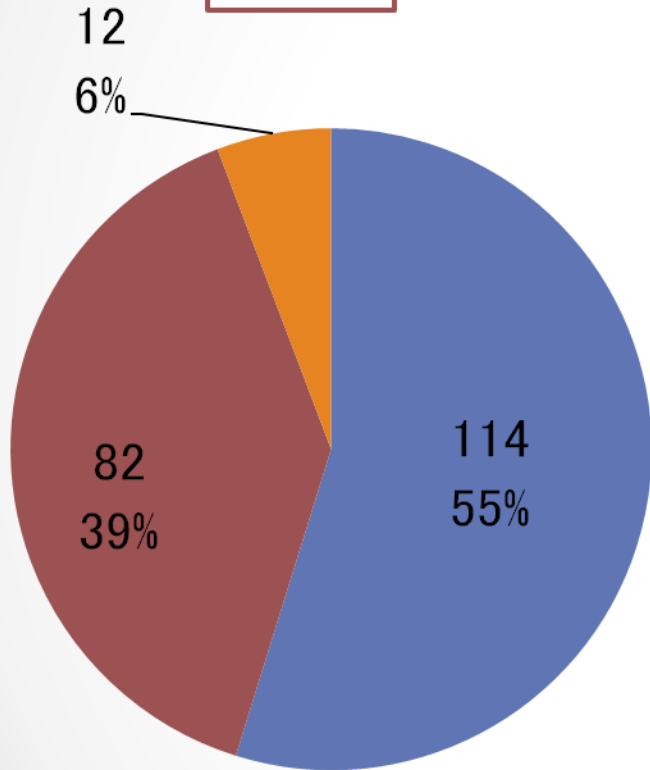
■なし

ヒヤリハット内訳

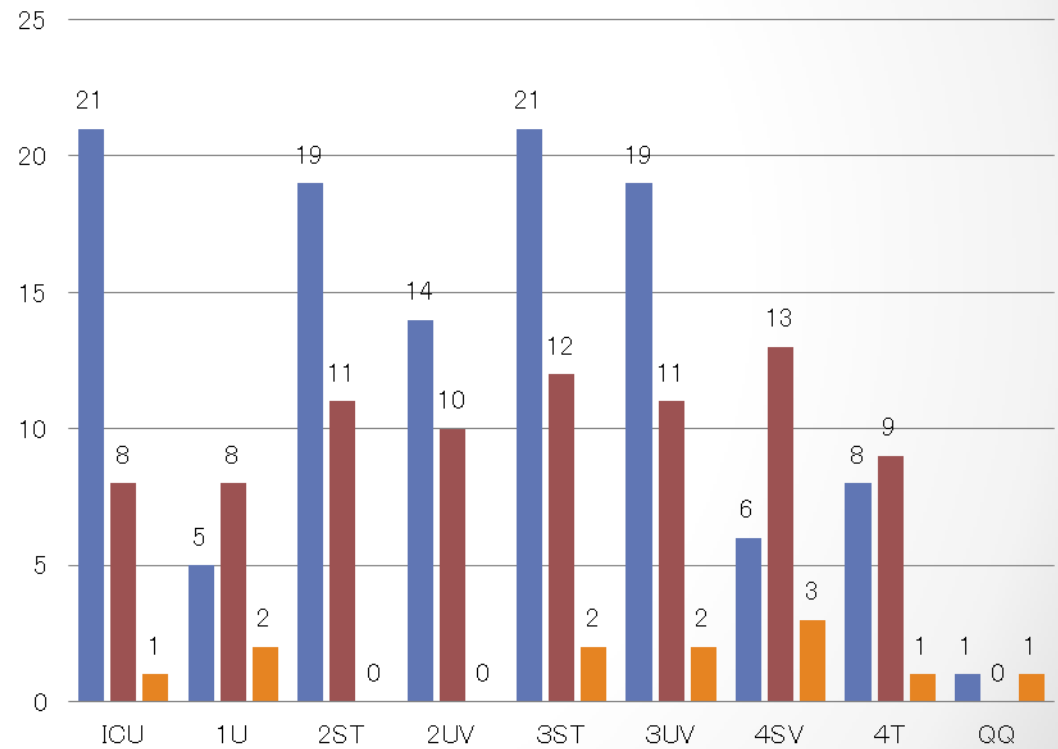
内容	件数
ドレーン・ルート類の引っ張り、外れ、抜去	42
患者さんの間違い	6
痛みの訴え	5
ルート折れなどで閉塞	2
体温計等、余計なものが写ってしまった	3
体位・部位間違え	2
声をかけずに撮影	2
状態悪化	2
他	4
計	68

2 カセットの入れ方について

全体



病棟別



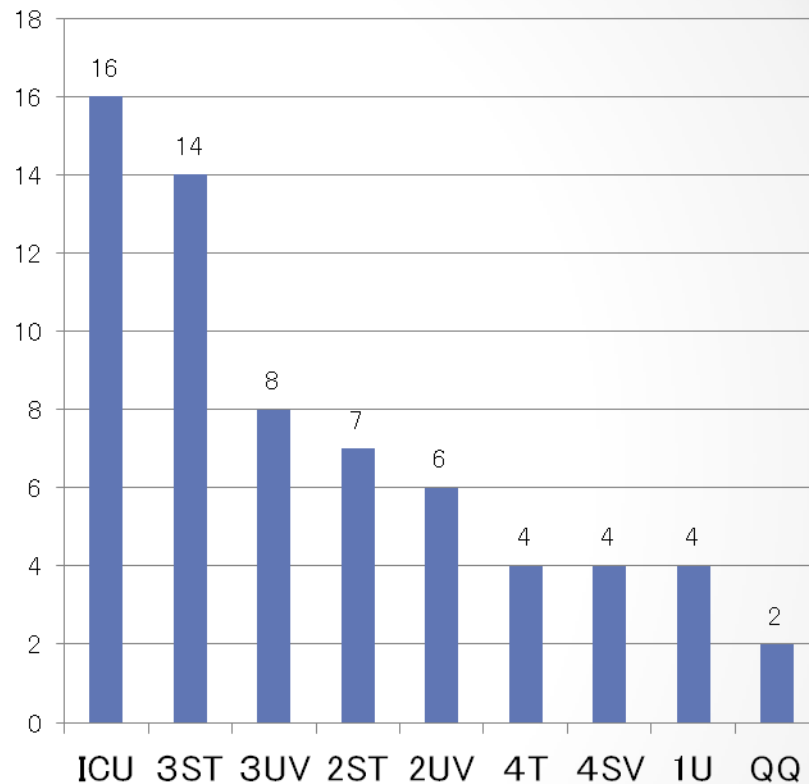
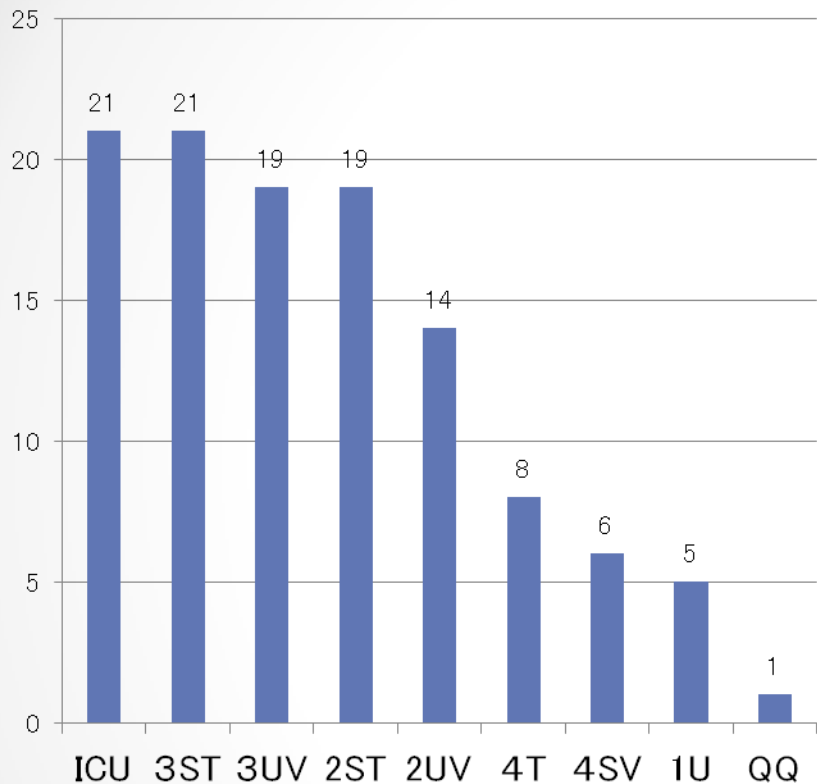
■ 患者さんを持ち上げる

■ 患者さんに横を向いてもらう

■ その他

患者さんを持ち上げて入れる方法が良い

ヒヤリハット経験 “あり”



“ヒヤリハット経験あり”が多い病棟 = ICU、3ST (循環)、3UV (脳外)

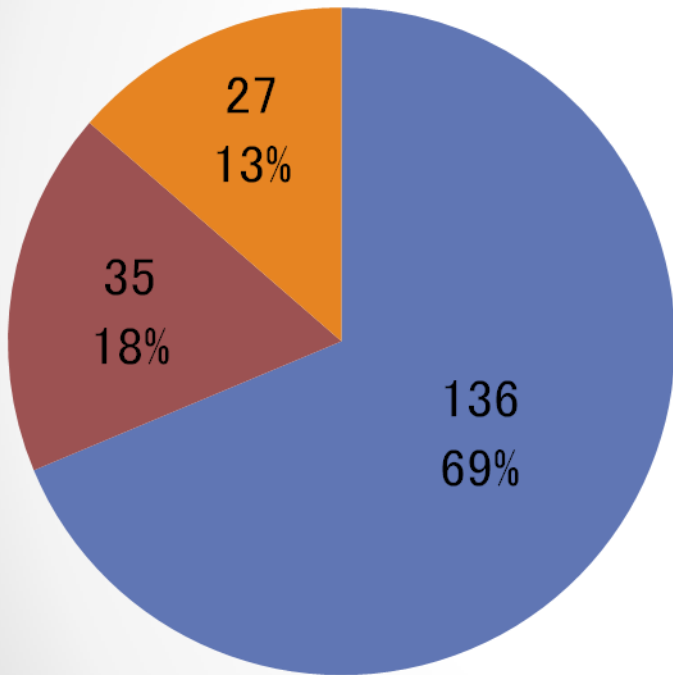
= ルート類・ドレーン・呼吸器等をつけている患者さんが多い

= 術後管理の必要のあるPtが多い。

→ 患者さんを持ち上げてカセットを入れた方が良いという回答が多いという傾向

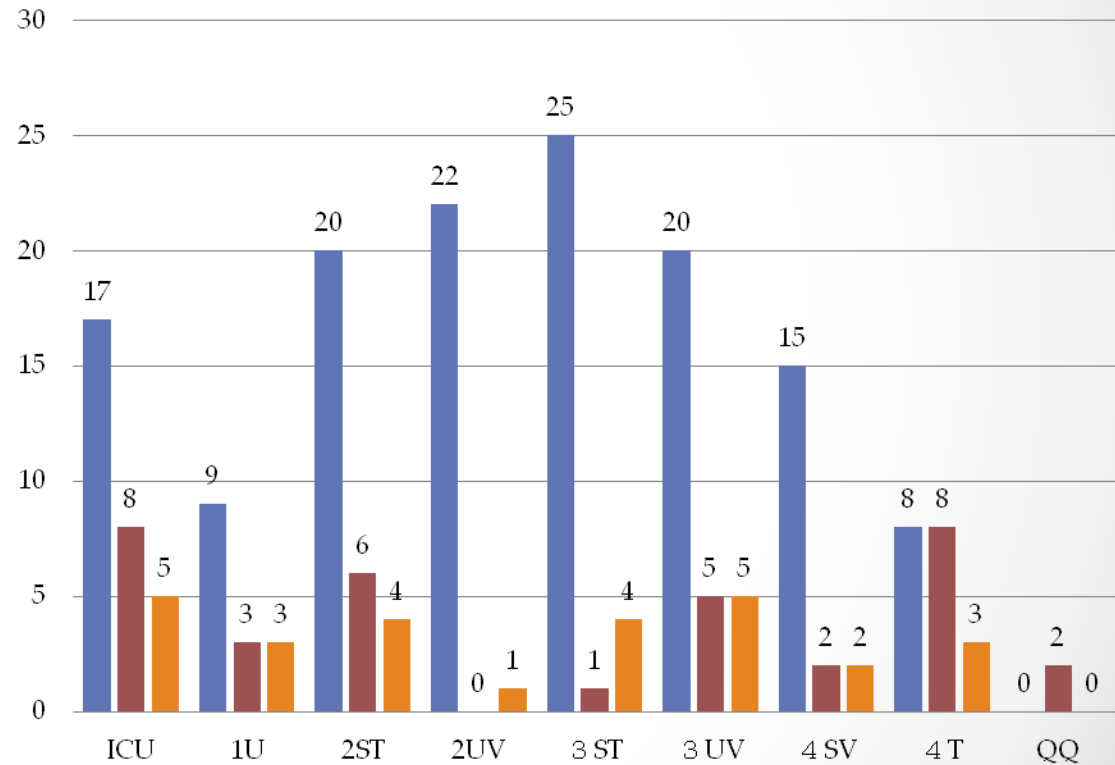
3 ポータブル介助について

全体



■ 現状でよい

病棟別



■ 看護師2名付く

■ その他

撮影時の介助について

- 看護師は入らなくてもよい(基本的に技師だけで撮影する)
- 看護師2名付く
- 中間的意見

大きく3つに意見が分かれた。

<看護師は入らなくても良い>

- 2名の放射線技師で、ルート等の確認を行いながらしてもよいのでは？
- 動ける患者さんは放射線科の方だけでやってください。初めにNsに確認してください。どうしても無理ならナースコールを押すとかで、初めからNs介助を必要としないしてほしいです。
- 自力で動けるような人にはNsなしでやってもいいのではないのでしょうか。
- ポータブルはスタッフ2名で来て撮ってくれると助かります。
- 撮影は放射線科の技師さん同士で行ってほしい。

(看護師は病棟業務で忙しいので)

同7件

<看護師は2名付いたほうが良い>

- 人数に余裕があれば2名の看護師でルート等の確認をしながら行ったほうがよい。
- 重症な患者さんなら介助2名が良いと思う。
- 2名の看護師がいればスムーズにできると思います。
- 2名の看護師でルート等の確認を行いながらしたほうが良いと思うが、業務上難しい時もある。

< 中間的意見 >

- ポータブル撮影時の介助は患者さんの具合による。その時の状況で介助人数が変わると思います。
- 時には技師さんが2名で来てくれるということは出来ないでしょうか。もちろんNsも介助に入りますが、その方が安全かと思います。
- 時間帯によってNsも介助に入れない状況があります。技師さんたち一日の流れもNsたちは分かりません。この機会にお互いの状況も知りつつ、患者にとって安全で安心な撮影ができるようお互いの仕事内容の理解が必要なのかなと思います。
- 患者の安全だけではなく、安楽も考えて協力していただきたい。患者の状態を知ってるのはNsだけど、ポータブル撮影は技師さんの分野なので、1名じゃなく2名でかかわってほしい。患者対応はNsだけでなく、医療者全員なのでお願いします。

<その他>

- 技師さんと協力し合いながら行えるといいです。患者さんの安全を考えるのは協力あってのものかと思います。
- 不慣れな技師さんにはそれなりのNsと一緒に撮影に入ったらどうでしょう。不安があるときはNsにも協力してもらっていいと思います。
- ポータブルで来る時も、事前にTELLしてもらおうと介助するNsが準備しておけると思う。忙しくて対応しきれない時もあるため。
- Nsも人手の足りない時があるので、その辺は考慮してほしい。
- どう介助してほしいのか指示してほしい。

4. その他ご意見

1. 撮影前(確認・感染対策)
2. 撮影時
3. 撮影後
4. その他

1.撮影前(確認)

- 技師もルート等を確認してほしい。
 - ルート等の確認を含め技師さんの専門技術かと思えます。Nsじゃなくてもやっただけだとありがたいです。
- 気を付けること等の情報収集もしていただけるとありがたいです。
- 名前の確認を自分でしない。
 - すべて看護師に頼る人がいる。患者確認のダブルチェック
(ベッドサイドでの確認+看護師に確認)
- 同姓同名の確認の徹底がされていなかった。
 - 撮影予定にはなかったもので、指摘して気づいた。(撮りそうになった)
- 患者の病状や症状によって方法を考えていく必要があると思います。撮影前にどういう患者さんなのか情報交換が必要なのかなと思います。

1.撮影前(感染予防)

- 手洗い・手指消毒・機材の消毒などの感染予防の徹底をして欲しい。
→1患者1ウェルパスの徹底をお願いします。
- 特に保育器での撮影時、手洗い、フィルム板を酒精綿で拭く等、感染予防を徹底してほしいです。
- 保育器内は基本的に滅菌されたものを使用しているので、新生児に使用するカセットもしっかりアルコール綿で拭いてほしい。感染予防のため手洗いを撮影前にしてほしい。

撮影時

- 患者さんを持ち上げるとき服を持つのではなく、手を入れて支えてほしい。
- お忙しいことは理解していますが、患者さんのパジャマをぐいっと持ち上げて（いたわっている感じはない）どさっと板に乗せる感じの方がいらっしゃいます。もう少し優しくしていただけたら、と思う時があります。
- カセットにバスタオルを巻いてくださった技師さんがいらっしゃいました。患者さんを思ってくださいなと思いました。Nsから「バスタオル巻いてください」とはなかなか言いにくい気がします。患者さんへの配慮をお願いしたく思います。
- ポータブル撮影時、技師さんの方で位置が定まらず、撮影するまでかなり時間がかかり、SP02低下したことがありました。なるべく短時間での撮影をお願いしたいです。
- 患者さんの声掛けが少ない技師さんがいる。

2 撮影後

- 再撮影の際、放射線の方から患者さんへ説明してほしい。
 - ポータブル撮影後は患者さんの体位を一緒に整えてから帰るようにしてほしい。
 - 撮りっぱなしでは帰らないでほしい。
 - プライバシーを気にかけてほしい。
- 撮影後、ボタンを開けたままにしない。

4 その他

- 放射線技師さんは接遇がとても良いといつも思います。ありがとうございます。
- 時間を把握していないのはなぜ
- なるべく午前中にやってほしい。毎回TELしないと来ていただけない。「午前中」などコメントが入っていても見てくれないのでしょうか！円背の方などフィルム板を入れて痛がる患者さんに対してタオルを入れるなどもう少し配慮してほしい。プライバシーも保護してもらいたい。
- 時間指定がある場合、放射線科でオーダーの把握はできるのですか？！
- 忙しいと思いますが、ポータブル急ぎの際や朝の緊急X-Pの時に当直PHSはすぐとれる状況をお願いします。
- ポータブルの依頼を至急で頼んでもすぐに来ていただかず、Drとの連携が取りにくい時があります。

放射線科看護師さんのご意見

- ポータブル撮影に関しては、看護師さん一人ひとりの考え方に個人差がありすぎるため、対応の違いが大きくなってしまふ。そこを統一することはとても難しいため、まず至急と緊急と臨時の線引きを行い、至急の時は電話で知らせてもらふ、撮影時すぐ対応できるよう病棟で準備する、というような取り決めを作っていきましょうと投げかけていってもいいのではないか。また、技師側にも個人差はあるので、基本的なところを統一していければよいのではないか。

結果と考察

- ヒヤリハット事例の多くはルート・ドレーン類の引っ張りに関する事例が多くあげられていた。
 - 技師1名・看護師1名の現在の体制では、カセットを入れるとき・抜くときに更なる注意が必要。
- カセットの入れ方については、持ち上げて入れる方法のほうが良いという意見が多かった。
 - 患者の病態・状態に合わせ、臨機応変に変える必要性が有る。
- 介助については、現状のままでよいという意見があった。
 - 技師側としては重症度の高い患者の撮影においては、基本的に3名の対応(技師1名・看護師2名)が望ましいと考える。

撮影対象者の確認方法について

確認方法→電カル上での確認

リストバンドによる確認

ベッドサイドモニター

ネームプレート

これらで必ず確認しましょう！

確認方法については、医局からの申し入れを行っており、さらに今後改善されていくものと考えるが、患者さんの撮り違えを防止するためにも、今後病棟と検討していく課題である。

アンケート後のちょっとした変化

看護師側

- 特にICUにおいては技師が撮影に行った際、すぐ対応してくれるようになった。
- ICU以外の病棟でも、重症度の高い患者においては、看護師2名での対応をしてもらえることも。

技師側

- 感染予防を呼びかけ、感染に対する対応について見直すことができた。
- 感染している患者においてはRIS画面での把握がしやすくなった。
→意識の変化
- 指名・撮影部位の確認の徹底を呼びかけ、取り違いなどの防止に努めた。

今後の課題

今回のアンケートで病棟の看護師さんの、ポータブル撮影に対する率直な意見を聞くことができた。今後さらに看護部との意見交換を行い、看護部と放射線科の相互理解をより深め、業務改善を進める。

例えば・・・

放射線科の
一日の流れ
ポータブルの担当
放射線科でのRIS活用方法
ポータブル撮影の原則
オーダー変更について

病棟の
一日の流れ
病棟でのRIS活用方法
Drと連携のとり方

おわり